



「人権」のない人はいるのか？

～「世界人権宣言」から75年目に考える～

■ 柳川朋毅（死刑廃止を求める部会事務局・イエズス会社会司牧センター）

毎年12月10日は「世界人権デー」です。これは、最大の人権侵害である戦争を——それも世界規模の大戦を20世紀に2度も！——繰り返してきた私たち人類の歩みを反省し、1948年12月10日の国連総会において「世界人権宣言」が採択されたことに由来します。教皇聖ヨハネ・パウロ二世がいつも指摘する通り、これはあくまでも「宣言」であって、人権は決して人間が作り出したものでも、誰かによって後天的に与えられるものでもなく、すべての人が生まれながらにして有しているものですから、この宣言が出される前の全人類にも、そしてこの宣言を知らないすべての現代人にも等しく人権は備わっているのです（1999年1月1日の「世界平和の日」メッセージ「人権の尊重こそ平和実現